

アンピシリン散2%「フジタ」

2026年3月改訂 6版

貯法 密閉容器

承認指令書番号	農林水産省指令 16 消安第 8327 号
販売開始	1995年4月

## 動物用医薬品

ペニシリン系抗菌薬  
要指示医薬品 使用基準 指定医薬品

# アンピシリン散2% 「フジタ」



# 20kg

〔成分及び分量〕

本剤 1g 中  
アンピシリン水和物……………20mg (カ価)

〔効能又は効果〕

有効菌種

本剤感受性の大腸菌、サルモネラ

適応症

子牛：細菌性下痢症  
豚：細菌性下痢症  
鶏：大腸菌症

販売元



ささえあ製薬株式会社  
東京都品川区西五反田七丁目7番7号

製造販売元



フジタ製薬株式会社  
東京都八王子市市瀬町1211番地1



〔用法及び用量〕

1日1回体重1kg当たり、アンピシリンとして下記の量を飼料に均一に混じて経口投与する。  
牛(生後6月を超えるものを除く.): 4~12mg (カ価)  
(アンピシリン散2%「フジタ」として200~600mg)  
豚: 4~12mg (カ価)  
(アンピシリン散2%「フジタ」として200~600mg)  
鶏: 20mg (カ価)  
(アンピシリン散2%「フジタ」として1000mg)

ただし、重症例には上記量を1日2回又は上記量の倍量まで増量する。

〔使用上の注意〕

(基本的事項)

- 守らなければならないこと
  - (一般的注意)
    - 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
    - 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
    - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
    - 本剤の使用に当たっては、治療に必要な最小限の期間の投与に止めるとし、過剰にわたる連続投与は行わないこと。
    - 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品です。そのため、使用対象動物（牛(生後6月を超えるものを除く。)、豚、鶏）について上記の用法及び用量並びに次の使用中止期間を遵守して下さい。

牛(生後6月を超えるものを除く。)	： 食用に供するために殺する前 5 日間
豚	： 食用に供するために殺する前 5 日間
鶏	： 食用に供するために殺する前 2 日間

(使用者に対する注意)

- 飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないよう注意すること。
- 作業時には、長袖の作業着、作業帽、防護メガネ、マスク、手袋等の防具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう注意すること。特にペニシリン系抗生物質に過敏な人は防具を必ず着用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- 本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- 開封後はできるだけ速やかに使い切ること。
- 小袋の手の届かないところに保管すること。
- 使い残しの保管は袋の口をしっかりと閉め、湿気に注意して保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気をつけること。

(使用者に対する注意)

- アレルギー体質等で刺激を感じた時は、直ちに取扱いを中止すること。
- 本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- 本剤を使用した後あるいは皮膚に付着したときは石けん等でよく洗い、水で十分うがいをすること。

(対象動物に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

- 対象動物の使用制限等
  - 本剤の使用によって、ショック症状やアレルギー症状を起こすことがあるので、投与前に使用経歴や反応の有無を調べ、陽性動物には投与を避けること。
- 重要な基本的注意
  - 本剤はペニシラーゼ産生菌には通常奏効しないので、この場合は他の薬剤を使用すること。

注意-獣医師等の処方箋・指示により使用すること  
注意-使用基準の定めるところにより使用すること

〔有効期間〕

36カ月

〔製品情報お問い合わせ先〕

フジタ製薬株式会社  
〒193-0942 東京都八王子市市瀬町1211  
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記「製品情報お問い合わせ先」に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukussyo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。



水ぬれ注意



手かぎ無用



外袋



内袋: PE

添付文書情報



26R6



4 987765 100915